

愛子観光バス株式会社

愛子観光バスによる路線バスのカーボン・オフセット

愛子観光バス株式会社は自社が運行する路線バスから排出されるCO2を東北地域のJ-クレジットにより「地産地消」のカーボン・オフセットを1年間実施する。アイドリングストップの徹底化、エコドライブの推進など削減努力を促進し、残ったCO2排出量についてJ-クレジットを活用してオフセットを実施した。



愛子観光バス株式会社(宮城県仙台市)は、自社が運行する路線バス8台から排出されるCO2を東北地域のJ-クレジットにより「地産地消」型のカーボン・オフセットを1年間実施します。
路線バスでのカーボン・オフセットは、東北地方初の実施となり1日平均1,100人のお客さまへこの活動をPRします。
PR方法は、バスの乗車付近や車両後部へ「カーボン・オフセット認証マーク」の貼付、車内観覧スペースでのポスターによるカーボン・オフセットの説明や、取り組み内容の紹介です。



取組の概要

斯文堂株式会社が毎月36,200部発行する鹿児島県の有料タウン情報誌「月刊タウン情報カゴシマ・TJカゴシマ」について、その出版に関わる温室効果ガス12ヶ月間分をカーボン・オフセットする。またオフセットの実施に合わせて、初号は1ページ、2号から12号は1/2ページ、1年間毎月カーボン・オフセットについての紹介と、その号でオフセットに使用する全国各地のクレジット創出事業についての紹介を行う。有料タウン誌として全国各地のクレジットを利用するという日本初の本取り組みを通して、20～40代を中心とした県民や全国各地の事業者へカーボン・オフセットについて広く認知して頂くとともに、冊子を購入してもらうことでオフセット活動への参加を促し、地球温暖化防止活動に参画して頂くというプロジェクトである。

オフセットの分類	商品・サービス型	認証取得(制度名)	カーボン・オフセット認証
----------	----------	-----------	--------------

取組の実施時期		
クレジット	クレジットの種類	J-クレジット
	プロジェクトの種類	排出削減系
	プロジェクトの名称	A重油ボイラから国産間伐材を利用した木質バイオマスボイラへの更新プロジェクト
	プロジェクト実施地	岩手県大船渡市
オフセット量		235 tCO2
無効化日		2014年12月8日
販売数、参加者数等		-
価格、参加費、クレジット費用の負担		-
オフセット・プロバイダー		カーボンフリーコンサルティング株式会社
オフセットの対象範囲 及び GHG排出量の算定方法		GHG排出量の削減努力
対象: 路線バス8台の運行(錦ヶ丘六丁目～仙台駅前) 算定方法: 2013年11月から2014年10月の期間における、路線バスが使用した軽油を活動量として、軽油使用量および軽油の排出係数を掛けることにより算定する。		<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップの徹底化 ・エコドライブの推進 ・デジタル・ドライブ・レコーダーによる運転管理
取組んだことによるメリット・良かった点		取り組む際に工夫した点・苦労した点
宣伝		宣伝へと繋がるように工夫した。

【問い合わせ先】
愛子観光バス株式会社